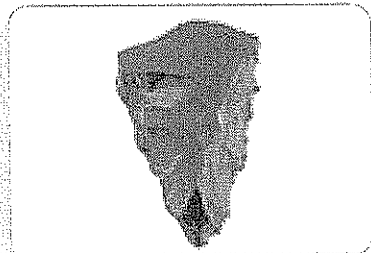


平石町教育委員会HPアドレス
<http://www.town.shizukuishi.iwate.jp>から教育委員会をクリック

編集・発行/平成21年5月14日 平石町教育委員会
〒020-0595岩手県岩手郡平石町千刈田5-1 TEL 019-692-2111

特集 ご存知ですか?しずくいしの文化財 大集合!

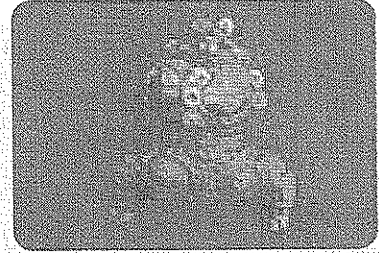
Q: 下の写真は、現地に行けば実際に見ることのできるものや、現在歴史民俗資料館に展示しているもので、すべて町内の文化財です。〇〇に当てはまる文字を埋めてみましょう! (答えはP8にあります)



①板橋Ⅲ遺跡から見つかった〇〇石器(漢字3文字)およそ32,000年前の人々が作った道具です。



②小日谷地IB遺跡は、〇〇時代(漢字2文字)の集落でした。たくさんの住居跡や土器が見つかっています。



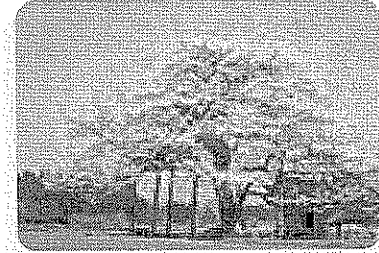
③目の形に特徴がある〇〇〇土偶(漢字3文字)。桜沼遺跡から見つかったもので、およそ2,500年前と考えられています。



④平成17年に国指定名勝となった「イーハトーブの風景地」。小岩井乳業工場から見える森は〇森です(漢字1文字)。



⑤葛根田から上ること1時間。白沼にある〇〇〇ガエル(カタカナ4文字)の生息地は、県指定の天然記念物になっています。



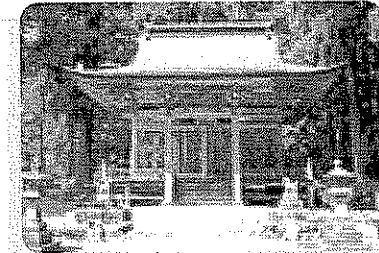
⑥樹齢800年を超えるという由緒ある桜。伝説から、一般的に〇〇桜(漢字2文字)と呼ばれています。



⑦しずくいしの地名由来とも言われる平石神社。「平石たんたん」の傍らには〇(漢字1文字)の大木がそびえ立ちます。



⑧その昔、盛岡・秋田の藩境に建てられた「これより北東盛岡領」の石碑は〇〇峠(漢字2文字)にあります。

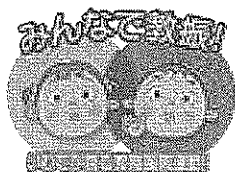


⑨上和野にある馬頭観世音堂。建てたのは、東北の左甚五郎としても知られる〇〇〇さん(漢字3文字)と言われています。

☆今月の「しずくいしの教育」も2大特集でお送りします!

- ①特集 教育振興運動の輪を地域に ~再生プラン最終年度スタート...P2
- ②ミニ特集 もう一つの重点事業 校種間連携の推進もスタート! ...P3

～再生プラン最終年度 スタート～



平成18年度に教育振興運動再生4年プランを策定、それに基づいて推進している本町の教育振興運動。

一步一步着実に歩み、今年度は最終年4年目になります。各地区での実践組織を土台に全町の組織を立ち上げ、地域ぐるみの子育て環境をみんなで考えていきます。

昨年度の成果と課題を踏まえて

成果

- ◆小学校単位の実践組織(実践区)で話し合いを持ち、実践課題を確認して取り組むことができました。
- ◆第2回栗石町親子読書のつどいを開催できました。
- ◆町PTA連絡協議会との共催で、「栗石町教育振興運動実践交流会」を開催しました。

課題

- ◇家庭での読書を推進する必要があります。
- ◇実践区の取り組み方を定着させる必要があります。
- ◇中学校の実践組織を立ち上げる必要があります。
- ◇子育てについて地域ぐるみで考える場が必要です。
- ◇町としての教育振興運動推進組織を立ち上げる必要があります。

平成21年度の推進目標は

その1 実践区の取り組み拡大!

実践区の取り組みに地域の参画を進め、新たに中学校で実践組織を立ち上げます。

その2 全町で読書大好き栗石っ子の推進!

家読(うちどく)の推進に力を入れるとともに、第3回栗石町親子読書のつどいを盛り上げます。

その3 栗石町教育振興運動実践交流会に地域からの参加者大幅増!

実践交流会に地域からの参加を呼びかけ、学校・家庭・子ども・地域・行政の5者による子育てを考える場にします。

その4 地区単位に子育て講演会を開催!

栗石っ子の健やかな成長に関わって、地域の大人が何をすれば良いか考え合う場として地区公民館を会場に開催します。

その5 町の推進組織を立ち上げ!

推進準備会を母体として、実践組織を集約した形での推進組織をつくり、新たな推進プランを策定します。

子育て講演会や実践交流会へご参加を

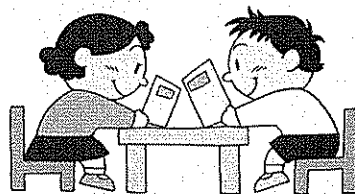
教育振興運動は、一緒に活動して子どもたちと関わっていく活動です。

《かしこく・やさしく・たくましい》栗石っ子をみんなで育てるために、子育て講演会や実践交流会に参加しましょう。

毎月の広報「教育しずくいし」に推進状況を掲載しますので、ご覧になりながらお近くの実践区の取り組みに参加をお願いします。

まず、こんなことから...

- 子どもたちに明るく声をかけましょう。
- 地域の子どもたちに地域の良さを語ってあげましょう。
- 家で読書の時間を増やしましょう。(家読(うちどく)の実践を)
- 絵本の読み聞かせや昔話を聞かせる機会を持ちましょう。
- 地区公民館での「子育て講演会」に進んで参加しましょう。

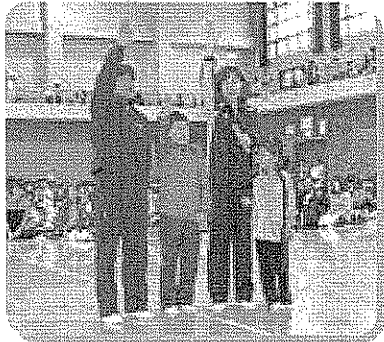


特集 出場者数は過去最高を大幅に更新! ~雨の中、選手のみなさんお疲れさまでした

第25回 岩手山ろくファミリーマラソン ~5月17日(日)

近年、参加者がどんどん増加しているこの岩手山ろくファミリーマラソン! 25回の節目を迎えた今年は、過去最高だった昨年をさらに上回る1,645人から参加申し込みがありました。

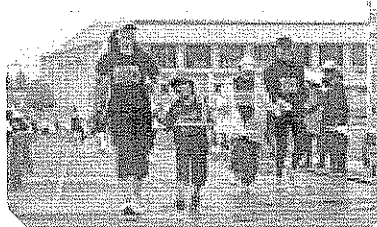
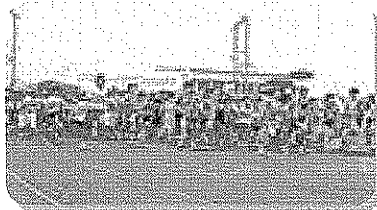
昨年とは打って変わっての雨模様となった今年のファミリーマラソン。雨天ということもあり、開会式にはたくさんの選手が体育館内に集まりました。



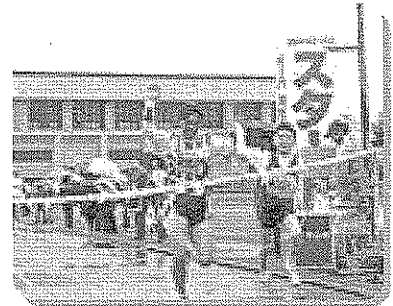
にぎやかな雰囲気の中、恒例の選手宣誓では、3km家族ペアの部に出場した町内長山の桐山一也さん・大輝さん・由理子さん・はる菜さん一家が元気いっぱい選手宣誓してくれました。

午前10時から、ハーフマラソン、10km、4km、3kmの部と続々と選手がスタート。

自己ベストを狙って全力で走る選手、子どものペースに合わせて楽しく走る家族など、ファミリーマラソンならではのさまざまな光景が見られました。



10時30分過ぎには続々と選手がゴール! なんと家族ペアの部では、選手宣誓をした桐山さんがトップでゴールインし、大きな声援が沸き起こりました。



今年は合計1,421名の選手が見事完走を果たし、恒例の豚汁サービスで冷えた体を温めていました。

11時30分から行われた表彰式では、各種目の上位選手に賞状や記念品が贈られ、成功裏に幕を閉じました。

おめでとう!第25回岩手山ろくファミリーマラソン入賞者紹介(町内出場者分)

【10km 男子30歳~39歳】

2位 No1107 目移 和行さん 記録0:33:28

【10km 男子50歳~59歳】

1位 No1467 遠藤 富雄さん 記録0:37:03

【4km 男子中学生】

3位 No2103 村上 映人さん 記録0:13:56

4位 No2114 村田 彪我さん 記録0:14:37

【3km 男子小学校低学年】

5位 No3033 村田 涼輔さん 記録0:13:11

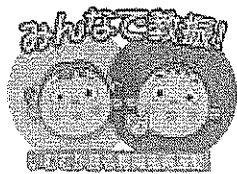
【3km 家族ペア】

1位 No4007 桐山 一也さん・大輝さん

記録0:12:12

☆最高齢者賞 木村 民二さん





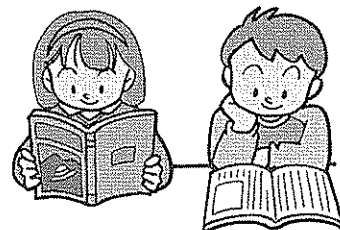
読書は心のご飯です ～家族みんなで読書をタップリと～

今年度は、読書への取り組みとして『家読（うちどく）』を重点に推進することにしました。

これは、家庭内で読書をする時間をもっともっと取りましょう！という運動です。

読書は、楽しみながら『考える力』や『思いやる心』『読解力』『想像力』『語彙力』などを育てます。子ども達がこれから大人となり、多くの人々と関わって明るく元気に生きていくために欠くことのできない栄養そのものです。その栄養をしっかりと与えるには、周りの大人の役割がとても大事なのです。そのため、地域ぐるみの子育て運動である教育振興運動で取り上げることにしたのです。

良い本を与えること、本を読む環境を整えること…何よりも、一緒に同じ本を読むことが大事です。それは、お子さんと同じ本を読むことで、その感動を共有し、語り合うことができ、お互いの考えを知る手がかりを得ることができるからです。



家読のはじめかた

①まずテレビを消して、家族一緒に本を読んだり、同じ本を読み聞かせしたり。あるいは同じ本を回し読みして、その後にだんらんしたり…。本を手がかりに家族でのおしゃべりを復活させましょう。

ところで、どんな本を読んだらいいのでしょうか。おススメは子どもの本、特に『絵本』です。絵本には子ども達の心を揺さぶる感動的な内容が厳選された文章で端的に表現されていますし、大人であれば早く読み終えることができるからです。

②次に我が家の家読ルールづくりをしましょう。

- ☆家族そろって、いつ・どこでしようか？
- ☆読み聞かせにするか、同じ本を回し読みするか？
- ☆時間は何分間くらいにするか？
- ☆読んだ感想などは交換日記風にするか、だんらんにするか？
- …などなど、家族みんなで話し合い、家読の約束を決めて取り組んでみましょう！

栗石町教育振興運動準備会では、『家読10（テン）運動』を提唱しています！

- ・『家読』を10分間以上やりましょう！
- ・1年間に10冊以上読みましょう！
- ・10人の人におススメの本を紹介しましょう！

栗石っ子を今、地域の大人の方で「がしこく 心豊かで 逞しく」育てるため
さあ、それぞれの家で「家読」を始めましょう！

☆家読標語を募集中☆ ～募集期間：6月5日～7月10日

現在、『家読』の啓発のため、町内の小学生を対象として「家読標語コンクール」を実施しています。

各小学校実践区から1人1点の作品を募集、低学年・中学年・高学年の部に分けて審査し、それぞれの入選作品をステッカーにして、各家庭に配布することになっています。

【教育振興運動に関する問い合わせ】 社会教育課（内線286）